



特定非営利活動法人 山崎・谷戸の会
会報 第82号 2017年11月1日発行

本会は、鎌倉中央公園の貴重な谷戸景観と多彩な動植物を保全するため、市民活動を実践していたメンバーが中心となり、行政との協働で立ち上げたものです。

保全活動の成果を味わいましょう



谷戸のしほり水のおかげで、日照りの年も、長雨の年も実ってくれる谷戸米、芋や豆の収穫後の処理に追われています。

これから、落ち葉かきに励んで、刈草の上に乗せる堆肥作りが始まります。味わうことにも増して貴重な体験です。

お知らせ

鎌倉中央公園フェスティバル
第2弾(協働開催)

秋の谷戸まつり開催

11/26(日)10:00~14:00

場所：野外生活体験広場 (荒天中止)

展示・紙芝居上演・頒布・体験コーナー
炊き出し(谷戸鍋・餅・ご飯)

引き換え券頒布開始 11時



お椀とお箸を
ご持参ください!

谷戸の体験学習

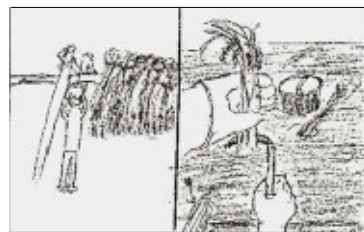
のこぎりがまは、ひいて切れるかまです。うまい(なれてる)人は、1回ひいたら切れるらしいです。へたな(なれていない)人は、3、4回ひかないと切れないらしいです。1回でスパッと切ってみたかったです。(深沢小5・稲刈り)

いねかりはかるとき自分の方にぐっとノコギリがまでひいてかるのがいねのくきがかたくてむづかしかった。でもかかったときの音はすごくそうかいだった。(富士塚小5・稲刈り)

体験学習の予定

深沢小5年 11/6 12/11
富士塚小5年 10/31 12/13
特別支援教室ひだまり 11/1

どてかぼちゃをとりました。そして田んぼを見て古い階段をのぼりました。(教育支援教室ひだまり)



(深沢小5・稲刈り)

自然だより

～ 生態系から見た、里山の手入れ 谷戸の湿地 その5 ～

●湿地の手入れ その1 暴れるツル草 クズ、フジ、カナムグラ

9月半ばから10月にかけて、ミゾソバやツリフネソウ、さらにオギやアシなどが開花し、湿地は花盛りになります。でも湿地の手入れを怠っていると、いつの間にかカナムグラなどのツル草に覆われてしまいます。ツル草の中でも、山崎の谷戸の場合、まず、上記の3種類を抑制(適度な駆除)すればよいでしょう。湿地の荒廃はツル草の繁茂から始まります。生態系保全班では10年以上湿地のカナムグラ、フジ、クズの草除去に励み、ようやくその成果が感じられるようになってきました。

●ツルがはびこる原因

クズやフジは、湿地の周辺や畔跡地など乾いた場所から芽を出し、湿地内部にツルを伸ばします。カナムグラは、湿地内に落ちた種が発芽して急増します。また、一度生えると根が何年も残って、繰り返し繁茂するようになります。

●ツルの駆除の要点

(1) クズやフジの場合：ツルが茂る夏～秋よりも、芽が伸びてくる春～初夏に根元から駆除すると効果的です。また、夏～秋は、湿地内のツルだけではなく、畔跡地や周辺部の元の部分を駆除する必要があります。根元をたどってみると意外に本数は少ないものです。

(2) カナムグラの場合：春、たくさん発芽している場所を除草。ツルが伸び始める初夏、種が落ちる前の8月～11月半ばにツルを除去(ツルだけでなく根元をたどって根から除去する)。駆除が非常に困難なので長期間の作業が必要です。

●注意点

手作業が中心になります。草刈機で刈ると、刃にツルが絡んで作業しにくいだけでなく、アシやオギ、ミゾソバなど残したい植物も一緒に刈られてしまいます。8月以降に刈ると、アシやオギの再生が悪くなります。

●湿地全体の再生を視野に

(1) 冬季に枯れたアシ・オギを刈ることで、春に良い芽が出てアシ・オギが元気になることが分かりました。湿地本来の植物を元気にしていくことも大切です。(2) まだ実験していませんが、広範囲を耕して湿地全体に水分をいきわたらせればカナムグラが発芽しにくい環境になるはずですが。(3) これも試していませんが、湿地の枯れ草を冬に集めて堆肥の材料にすれば、湿地の土がやせて、ツルが育ちにくい環境になるかもしれません。

谷戸往来

保育士研修講座 9/9(土)

市内の9つの保育園から11名の保育士の方が参加されました。子どもたちが遊ぶ、水路の草刈り作業と谷戸の生態系やマナーについての講座を行いました。

北野神社例大祭 湯立神楽 9/25(土)

北野神社で毎年行われている例大祭「湯立神楽」にて、当会の藁が巻藁(まきわら)として使われました。夏まつりの神輿鳳凰に続き、こちらでも地元の文化継承に一役買いました。



「いのちを守る緑の防潮堤の森づくり」協力

山崎の谷戸で育てたコナラやタブなどの苗木を、福島県相馬市に送っています。津波対策に、人口堤防ではなく自然林の堤防を築こうという取り組みです。2013年から10年にわたる長期の取り組みですが、現在1500本の苗を贈りました。被災地に向けての応援です。

NPO法人 森びとプロジェクト主催(当会協力)

各班のお知らせ

田んぼ班



今年は、空梅雨後の8月の長雨、9月の迷走台風と天候に一喜一憂しましたが、稲はまずまずの実りでした。10月に稲刈り、脱穀まで進めています。11/26の谷戸まつりに新米が間に合うように準備していきます。

雑木林管理班



稲刈りが終わるといよいよ本格的な雑木林の手入れの季節です。まず下草刈りを行い、雑木林を歩いて調査し、今年の間伐対象木を選定することから始めます。

農芸班



「枝豆を作ってるの？」田の畔(くろ)に植えたことから、その名も「田の畔豆」。谷戸に昔から植えられてきた味噌の原料となる大豆です。サヤから出す作業を行います。

植物育成班



畑雑草に覆われている小段谷戸の土手を、数年前から土手らしい植生に戻したいと試行錯誤してきました。クズの根を掘り起し、主根点を見つけ、除去していきました。

このあとにチガヤを移植する予定です。



ヤマハッカとウラナミシジミ

畑班



実りの季節を迎えての畑では、これからのくろ豆・さといもなどの収穫から青首・沢庵大根の収穫へと進んでいきます。

また、冬を迎える前に、さつまいも・さといもの洞入れ、玉ねぎの移植をします。



10/11 小麦の製粉

自然遊び班



山から親子で採ってきたヨウシュヤマゴボウの実、セイタカアワダチソウの葉をかまどで煮出し、2種類の草木染めをしました。輪ゴムで縛った部分の模様や、染め色の違いなども楽しみました。



クズの主根点を掘り出す

生態系保全班



数年ぶりにカンタンの鳴き声を聞きました。姿を確認していませんが、セイタカアワダチソウ周辺にいます。除去対象の草ですが、生きものとの関係も考慮しながら活動をしています。

11月

- 1日 (水) 生 カヤネズミの巣の調査
 3日 (金・祝) 田 初干し・はさ片付け
 5日 (日) 田 初干し・溝切り・畔土寄せ
 畑 たのくろ豆の収穫 ☆
 雑 雑木林を歩いて調査 ✨
 8日 (水) かまくらママ's カレッジ
 「サトイモとどろんこ」
 一日冒険遊び場
 11日 (土) 田 初すり・精米・わら切り
 12日 (日) 田 初すり・精米・わら切り ✨
 畑 さつまいも洞入れ
 雑 雑木林の除間伐
 自 父と子の里山体験
 「つるブランコ作り」
 19日 (日) 田 初すり・精米・わら切り
 畑 さといも掘り・洞入れ ✨
 雑 雑木林の除間伐 ✨
 青空自主保育にこにこ会保全活動
 22日 (水) 農 たのくろ豆の殻出し ✨
 植 紅葉の観察

26日 (日) 秋の谷戸まつり 10~14時

29日 (水) 東京シニア自然大学

12月

- 3日 (日) 田 落ち葉かき ☆
 畑 大根の収穫 ☆
 雑 雑木林の除間伐 ☆
 自 里山探検隊「むしろあみ・落ち葉かき」
 6日 (水) 生 カエルの産卵場所の整備
 10日 (日) 田 苗床耕し ☆
 畑 亀戸大根種蒔き
 雑 雑木林の除間伐 ✨
 17日 (日) 会員親睦会
 田 初穀くん炭 ✨
 畑 畑の整備
 雑 雑木林の除間伐 ✨
 講座「正月飾りづくり」☆
 20日 (水) 農 たくわん漬け ✨
 24日 (日) 生 冬の野鳥を探そう ✨

☆ 谷戸塾

✨ 一日里山体験 (要予約)

田：田んぼ班 畑：畑班
 雑：雑木林管理班 農：農芸班
 自：自然遊び班 生：生態系保全班
 植：植物育成班

1月

- 7日 (日) 田 初穀くん炭・堆肥切り返し
 畑 麦踏み・畑の整備・見回り ✨
 雑 雑木林の調査・測定 ☆
 講座「紙漉き・1」☆
 かまくらレンジャーズ
 14日 (日) 春の七草とどんど焼き
 田 初穀くん炭・堆肥切り返し ✨
 畑 さつまいも苗床落ち葉かき
 雑 竹の伐採 ☆
 17日 (水) 植 オギ原の刈り込み作業
 21日 (日) 田 初穀くん炭 ☆
 畑 畑の整備
 雑 間伐材整理 ✨
 青空自主保育にこにこ会保全活動
 28日 (日) 田 初穀くん炭・堆肥撒き ✨
 畑 畑の整備
 雑 木障切り ✨
 生 アシ原の野鳥を探そう ✨
 自 里山探検隊「つるブランコ作り」
 青空自主保育なかよし会保全活動
 講座「雑木林の観察」☆

〒247-0066 鎌倉市山崎 1667 鎌倉中央公園管理事務所内

TEL/FAX 0467-47-1164 木曜を除く 10時~16時

ホームページ : <http://yato-yamasaki.sakura.ne.jp>

Eメールアドレス : ya-yato@arrow.ocn.ne.jp

● 次号(会報83号)は、2018年 1月に発行予定

